

大津圏域
行動援護事業所に関する研修会

支援手順書とは？

社会福祉法人しが夢翔会
大津市発達障害者支援センターかほん
小崎 大陽

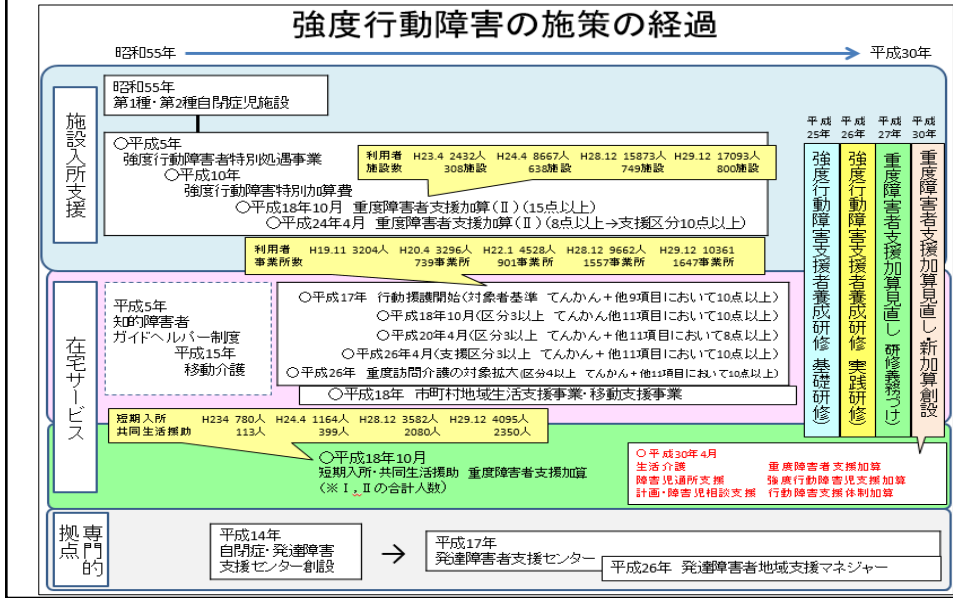
【 このコマの内容 】

- 〈 1 〉 行動障害に関する施策の流れ
- 〈 2 〉 サービス利用等計画からの流れ
- 〈 3 〉 支援計画シート・支援手順書の内容
- 〈 4 〉 支援計画シート等の例の事例紹介

1

行動障害に関する施策の流れ

1) 国の資料より



1

行動障害に関する施策の流れ

2) ポイント

① 施策

「行動障害」という言葉が出てきた頃

平成5年 強度行動障害特別処遇事業開始
平成10年 同・特別加算開始

滋賀県では、かいぜ寮(彦根)とステップ広場ガル

1

行動障害に関する施策の流れ

2) ポイント

① 施策

「行動障害」という言葉が出てきた頃

平成5年 強度行動障害特別処遇事業開始
平成10年 同・特別加算開始

施策的には無くなっていた頃

平成17年 行動援護事業開始(行動援護従業者研修開始)
平成18年 自立支援法施行で、特別加算は重度障害者支援加算Ⅱに。

再び出てきた頃

平成24年 障害者虐待防止法施行

被虐待者に、行動障害の人がかなりいる、ということが数字で示された。

1

行動障害に関する施策の流れ

2) ポイント

① 施策

「行動障害」という言葉が出てきた頃

平成5年 強度行動障害特別処遇事業開始
平成10年 同・特別加算開始

施策的には無くなっていた頃

平成17年 行動援護事業開始(行動援護従業者研修開始)
平成18年 自立支援法施行で、特別加算は重度障害者支援加算Ⅱに。

再び出てきた頃

平成24年 障害者虐待防止法施行
平成25年 強度行動障害支援者養成研修開始
平成27年 重度障害者支援加算Ⅱが衣替え(要件に研修が含まれる。)

1

行動障害に関する施策の流れ

2) ポイント

② 研修体系

強度行動障害支援者養成研修

基礎研修

支援手順書を見て、それに沿った支援ができる。
できるための障害理解や支援の知識を得る。

実践研修

支援手順書を作成・修正することができる。

現在では、重度障害者支援加算Ⅱに限らず、様々な加算等の要件に。

行動援護従業者養成研修

2

サービス利用等計画からの流れ

計画相談

【サービス等利用計画】
【そのためのフェイスシート・アセスメント】

〇〇な人で、〇〇な状況なので、〇〇なサービスが必要。

支援計画

【個別支援計画】
【そのためのフェイスシート・アセスメント】

そのような状態・状況に基づき、〇〇なサービスを実施。そのとき、〇〇な支援をする。

現場

【支援手順書】
【そのための支援計画シート】

具体的には、〇〇な手順で、〇〇な関わりを。もしうまくいかなければ、〇〇な形に。

2

サービス利用等計画からの流れ

計画相談

【サービス等利用計画】

【そのための
フェイスシート・アセスメント】

自宅(実家)での過ごし
が難しい。
自閉症だけど、毎日・い
つも同じ場所や流れだと、
それも混乱する。

支援計画

【個別支援計画】

【そのための
フェイスシート・アセスメント】

分かりやすく、見通しを
持てて、気持ちよく動ける
ように。

現場

【支援手順書】

【そのための支援計画シート】

〇〇な絵カードと、ルー
ティーンを重視した支援。
理解の大きいお店と、
散歩は静かな所を選ぶ。

3

支援計画シート・支援手順書の内容

1) 支援計画シート

全国的に多く例示されているのがこのシートで、「BPSモデル」を使っている。このシートは、5年くらい前に国関係の研修でも多く紹介され、県の相談支援研修でも採用されている。

ただし、この通りでなくても良い。

支援計画シート 氏名() 支援計画者()			
インタビュー (情報の収集・整理)	アセスメント (評価)		プランニング (支援計画)
情報 (見たこと、聴いたこと、資料など から)	理解・解釈・仮説 (わかったこと、推測したこと)	支援課題 (支援の必要なこと)	対応・方針 (やろうと思うこと)
	生物的なこと (疾患や障害、気質など)		
	心理的なこと (不安、葛藤、希望、感情など)		
	社会的なこと (家庭、施設・学校、地域資源など)		

3

支援計画シート・支援手順書の内容

1) 支援計画シート

アセスメント (評価)
理解・解釈・仮説 (わかったこと、推測したこと)
生物的事象 (疾患や障害、気質など)
Bio (バイオ)
心理的事象 (不安、葛藤、希望、感情など)
Psycho (サイコ)
社会的な事象 (家庭・施設・学校、地域資源など)
Social (ソーシャル)

ご本人の思い等は、関係なくとにかくこういう障害や疾患がある。(例: 自閉症で、感覚過敏。アトピー。)

「B」の結果、こんな思いやコミュニケーションになっている。(例: 日常の流れに混乱したり、周囲の騒がしさで、イライラしがち。イライラすると、アトピーのかゆみが増悪。ただ、分かりやすい環境では穏やかなことも多い。)

そんなご本人の周囲の状況は、こんな感じ(例: 自宅で母と2人の関係の中で、より混乱。ヘルプや学校で、ご本人と母の両方を支えることで、家庭が円満。)

3

支援計画シート・支援手順書の内容

2) 支援手順書

- 全国的に多く例示されているのがこのシートだが、国のお金を使った研究の中で**様々な書式**も紹介されている。
- 記録については、特記がなければ「○」「△」「×」くらいでも良い(強度行動障害支援者養成研修国研修より)。また、記録は、特記があれば日常のケース記録に記入している事業所もある。

利用者名	サービス提供日	作成者名		
事業所名①	サービス名	提供者名		
事業所名②	時間	提供者名		
事業所名③	時間	提供者名		
時間	活動	サービス手順	役割	様子
		【スケジュール1: 】		
		【スケジュール2: 】		
		【スケジュール3: 】		
		【スケジュール4: 】		
		【スケジュール5: 】		
		【スケジュール6: 】		
		【スケジュール7: 】		
		【スケジュール8: 】		
【連絡事項】				
【問い合わせ事項】				

3

支援計画シート・支援手順書の内容

2) 支援手順書

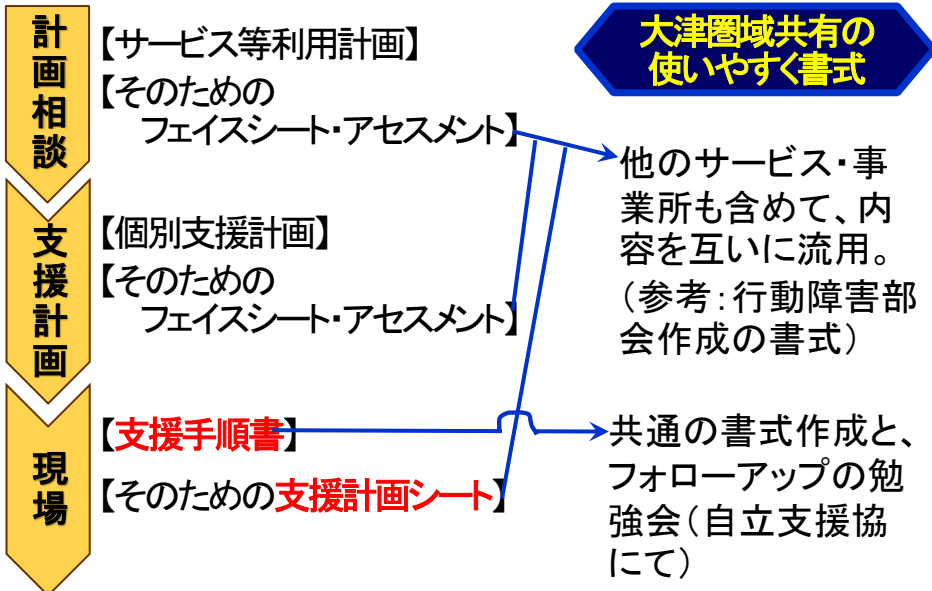
- ご本人の状況や実際の現場での様子に応じて、**具体的・こまめに修正**することが大切。

支援手順書 兼 記録用紙					
利用者名		サービス提供日		作成者名	
事業所名①		サービス名	時間	提供者名	
事業所名②			時間	提供者名	
事業所名③			時間	提供者名	
時間	活動	サービス手順	評価	様子	
		【スケジュール1: 】			
		【スケジュール2: 】			
		【スケジュール3: 】			
		【スケジュール4: 】			
		【スケジュール5: 】			
		【スケジュール6: 】			
		【スケジュール7: 】			
		【スケジュール8: 】			
【連絡事項】					
【問い合わせ事項】					

3

支援計画シート・支援手順書の内容

3) 今後自立支援協などでも検討しませんか。



4

支援計画シート等の例の事例紹介

計画相談

【サービス等利用計画】

【そのための
フェイスシート・アセスメント】

自宅(実家)での過ごし
が難しい。
毎日・いつも同じ場所や
流れだと、それも混乱す
る。(チック的)

支援計画

【個別支援計画】

【そのための
フェイスシート・アセスメント】

分かりやすく、見通しを
持てて、気持ちよく動ける
ように。

現場

【支援手順書】

【そのための支援計画シート】

〇〇な絵カードと、ルー
ティーンを重視した支援。
理解の大きいお店と、
散歩は静かな所を選ぶ。

4

支援計画シート等の例の事例紹介

以下・個人情報のため、
自立支援協議会ホームページ上では削除。